

令和4年度准組合員モニターアンケート結果について

准組合員の農業及びJAへの理解の醸成を進め、組合員としての位置付けを明確化して意思反映並びに運営参画の機会を拡大し、正組合員と准組合員の協同による組合運営の推進を目的としてアンケートを実施しました。主な意見・要望は次のとおりです。

1 アンケート実施時期 令和5年1月

2 アンケート対象者

令和3年度准組合員加入者において、当組合の経営情報や活動情報、運営参画の機会などの提供を希望いただいた方

3 アンケート対象人数

アンケート送付者 63名（回答者 32名）

4 意見・要望

(1) JA秋田おぼこの事業・商品サービスについて

Q：自分の生活とあまり接点がなく、JAの事業・商品・サービス内容自体をよく知らない。なじみが少ない。

A：JAの広報誌、ホームページ、お知らせチラシ等によりご案内をしておりますが、まだまだ周知が行き届いておりませんでした。今後は、わかりやすいPR活動を展開してまいります。

Q：金融窓口の昼休み時間を考慮してほしい。交代制ではだめなのか。

A：貯金特化支店の要員については、4名体制としておりますが、金融業務については、営業時間中は3名以上の職員が常駐することとなっており、交代制であれば職員の休憩時間確保ができなくなるためです。ご理解をお願いします。

(2) 公式LINE・広報について

Q：公式LINEのことを初めて知った。

A：出向く営農指導を充実させるとともに、病害虫の発生状況や気象条件の急変による農作物への影響を最小限に食い止めるべく、リアルタイムに対応できるLINEによる営農指導を実践しています。利用者からも大変な好評を得ております。

今後も、広報等を通じて登録者の更なる獲得に努めてまいります。

Q：しゅしゅえっとまるしゅ（クーポン等）情報やガソリンスタンドの特売やイベントの情報を記載してほしい。

A：随時掲載いたします。

(3) 商品開発について

Q：いつもお土産にできるような日持ちのする美味しいお菓子がなく困っている。農産物を使った秋田の名物となるお菓子の開発（秋田と言ったらこれ！と言えるような美味しいお菓子）をしてほしい。

A：残念ながら当JAにおいて、ご要望に添える商品開発・加工・生産施設を所有しておらず、外部メーカーとの共同開発又は委託生産が最も実現的かと思われますので、長期にわたるとは思いますが検討を進めてまいります。